

平成30・31年度 瀬戸内海環境保全小委員会開催スケジュール(案)

●: 中央環境審議会瀬戸内海環境保全小委員会開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度					●					●		●
	<p>第11回 (8月22日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「とりまとめに向けた検討の進め方について」の提示 ヒアリングの実施(東部海域) 大阪府、兵庫県、香川県 瀬戸内海関係漁連・漁協連絡会議 全国海水養魚協会、兵庫県漁連、香川県漁連 瀬戸内海区水産研究所 「栄養塩類と水産資源の関係に係る検討方針」の提示 					<p>第12回 (1月10日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒアリングの実施(中西部海域) 広島県、愛媛県、大分県 山口県漁協、愛媛県漁連 大分県漁協 栄養塩類と水産資源の関係に係る 検討状況の報告 			<p>第13回 (3月14日)</p> <p>【湾・灘ごとの総合検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 湾・灘ごとの水環境等の状況に係る整理 ヒアリング結果のとりまとめ <p>→水環境及び水産資源等に係る主な課題を整理</p>			
平成31年度												●
	<p>● 複数回実施</p>											
	<p>← 方策の在り方に関するとりまとめの審議に向けた論点の整理 法改正、基本計画変更後の取組状況や課題についてヒアリング (関係省庁、関係府県、関係団体等) 平成30年度の関係機関等における調査結果の報告 等</p>										<p>●</p> <p>【方策の在り方に関するとりまとめ】</p>	
	<p><平成32年度～> とりまとめを踏まえた措置等</p>											

湾・灘ごとの総合検討について

湾・灘ごとの総合検討(瀬戸内海環境保全小委員会(第13回))

平成30年度は、水質及び底質・底生生物の変化状況や水環境等に係る項目について、湾・灘ごとの海域特性等を踏まえた分析、瀬戸内海における栄養塩類と水産資源の関係に係る調査・研究等の結果の収集・整理を行った。これらの分析・整理に加え、第11回及び12回の小委員会で関係府県・関係団体から実施したヒアリング内容も踏まえ、湾・灘ごとの水環境等の状況と課題について総合的に整理し、主な課題を抽出した。

湾・灘ごとの水環境等の状況と課題の整理

湾・灘の物理特性

(項目) 地形・水深、淡水流入(河川、降水量)、流況、陸域負荷、埋立・護岸の整備状況、藻場・干潟 等

水環境の現況・変化状況

(項目) 栄養塩類・クロロフィル濃度、透明度、水温、環境基準達成状況、赤潮、夏季の底層溶存酸素、底質・底生生物 等

水産資源の現況・変化状況

(項目) 漁獲量、養殖収穫量(藻類・魚類)、区画漁業権の設定状況 等

瀬戸内海における水環境及び水産資源等に係る主な課題

平成31年度

- ・方策の在り方に関するとりまとめに向けた論点の整理
- ・法改正、基本計画変更後の取組状況や課題についてヒアリング
- ・関係機関等における調査結果の報告 等

方策の在り方に関するとりまとめ